

トマトキバガに対する各種殺虫剤の防除効果

トマトキバガ幼虫に対して7殺虫剤で高い殺虫効果が認められています。

背景・目的

- 令和3年12月に本県でトマトキバガが初めて確認されましたが、防除薬剤についての知見が不足しています。
- そこで、トマトに適用のある各種殺虫剤を供試して、トマトキバガ幼虫に対する防除効果を明らかにします。

成果の内容

- エマメクチン安息香酸塩乳剤、クロルフェナピル水和剤、メタフルミゾン水和剤、シアントラニリプロール水和剤、フルベンジアミド水和剤、テトラニリプロール水和剤及びフルキサメタミド乳剤の7薬剤では、速攻的で高い殺虫効果が確認されています（表1）。
- BT剤であるエスマルク水和剤は遅行的であるが効果が認められ、また、ピリダリル水和剤は程度はやや低いが防除効果がみられます（表1）。

（表1）：トマトキバガ幼虫に対する各種殺虫剤の防除効果

商品名	一般名	系統名	IRAC コード	倍率	補正密度指数			評価
					処理3日後	同5日後	同7日後	
アディオン乳剤	ベルメトリン乳剤	ピレスロイド	3A	2000	51.2	86.4	55.5	—
スタークル顆粒水溶剤	ジノテフラン水溶剤	ネオニコチノイド	4A	2000	71.4	67.1	53.4	—
アフアーム乳剤	エマメクチン安息香酸塩乳剤	アベルメクチン	6	2000	3.7	3.7	0	◎
コテツフロアブル	クロルフェナピル水和剤	ピロール	13	2000	0	0	0	◎
アクセルフロアブル	メタフルミゾン水和剤	セミカルバゾン	22B	1000	0	0	0	◎
ベネビアOD	シアントラニリプロール水和剤	ジアミド	28	2000	0	0	0	◎
フェニックス顆粒水和剤	フルベンジアミド水和剤	ジアミド	28	2000	0	0	0	◎
ヨーバルフロアブル	テトラニリプロール水和剤	ジアミド	28	2500	0	0	0	◎
グレーシア乳剤	フルキサメタミド乳剤	イソオキサゾリン	30	2000	0	0	0	◎
プレオフロアブル	ピリダリル水和剤	ピリダリル	UN	1000	59.8	44.3	44.3	△
エスマルクDF	エスマルク水和剤	BT（クルスターキー系・生菌）	11A	1000	29.8	26.4	14.7	○

※ ◎：処理7日後の補正密度指数0-10、○：10-30、△：30-50、—：50以上

補正密度指数=(薬剤区の処理日数後の虫数/薬剤区の処理前の虫数)×(無処理区の処理前の虫数/無処理区の処理日数後の虫数)×100

成果の活用方法(又は期待される効果)

- トマトキバガの発生を想定した防除暦の作成やトマトキバガが発生した場合の防除対策として活用が期待されます。
- トマトキバガが発生した際に被害を抑えることが期待されます。
- 普及対象地域・目標 県内のトマト栽培地域・防除暦への採用

留意点

- 室内試験での結果であるのため、ほ場で散布した場合の結果と異なる可能性が考えられます。